

金融王と称された経済界の寵児

やすだ ぜんじろう

安田善次郎

安田善次郎は幕末激動期に両替商を開き、先見性と合理的な経営哲学で銀行業に飛躍し、その後、数多くの銀行や保険会社などを擁する「安田財閥」を一代で築いた富山県出身の経済人。その類まれなる才能と信念を貫いた偉大な人生は後世に、意志の人、克己の人、勤儉努力の生涯、あるいは数百年の希観とも称えられている。

東京電燈会社、中越鉄道、南満州鉄道など金融以外の諸事業にも参画し、さらに中国や台湾など海外事業にも進出。また、同郷の起業家・浅野総一郎の事業手腕を買って、彼の様々な事業に金融支援を行った。晩年は社会事業にも力を尽くし、各方面にわたって多額の寄付をしたほか、日比谷公会堂や東京大学の安田講堂なども寄贈した。

いまでも東京に残る安田善次郎ゆかりの施設

東京大学 安田講堂



日比谷公会堂・東京市政会館



日本銀行本店



都民に親しまれている横網町の旧安田庭園



安田学園に建つ創立者・安田善次郎翁像



墨田区横網町の安田学園の校舎



東京建物 日本橋ビル



東京建物 八重洲ビル



安田善次郎の屋敷があった麹町中学校



先富山の
覚者